

埼玉県山岳連盟  
埼玉岳連報 第18号

発行所 埼玉県山岳連盟  
上尾市上1481-5  
電話048-775-1723

発行者 田中 文男  
編集人 広報 岩井田 正昭  
発行部数 1600部

## 『成功させよう59』埼玉国体

縦走競技『秩父・武甲山』：『小鹿野・観音山』&クライミング競技『加須』

静岡国体 開会式会場に集う各県選手団



### 《静岡国体で考えたこと》

埼玉県山岳連盟会長

田中 文男

新しい年を迎える為に、様々な思い出を残して2003年は去つて行こうとしている。振り返ると、2003年はよい年だった。思い出深い年だった。だって本当に久しぶりに成年女子が関東の厚い壁を破つて、山岳競技で本番の静岡国体への出場権を得たではないか。思えば、これまでだつて選手は決して怠けていたわけではない。しかし勝てなかつた。

その責任の大半は私が負わなければならぬ。私にあると言つてもいい。でも、今年はこれまでのがんばりがようやく実を結んでくれた。過去、敗れ続けてきた選手の祈りもようやく通じてくれたのだ。これだけで、十分によい年だつたと私は言えるのではないか。ずっと昔のことだつた。その年の私共の成年女子選手の踏査競技の成績はさんざんだつた。翌日の縦走にたとえ一位になつたとしても、出場権は得られないことは誰もがわかつてゐた。当日は激しい雨だつた。その中を私の選手たちは走り続けてくれた。三人が一チームの時代だつた。助けあつて、縦走で二位になつてくれた。

「女の意地よ」「理事長にそうそう恥をかかせられないから」彼女達は楽しそうに笑つてくれた。その目は光つていた。びしょびしょの彼女達を抱きしめたいくらい感動を覚えた。

勝負を決して捨てないで、最後の最後まで意地を見せてくれたのだ。

今年の静岡では成年女子は期待通りのがんばりを見させてくれた。天皇杯の得点も稼いでくれた。これにられるように成年男子もがんばつてくれた。もう少しのところで入賞に手の届くまでの活躍を見させてくれた。

2004年は埼玉の年だ。国体の開催地だ。埼玉は私たちのふるさとだ。誰もが、もう一度がんばつてくれるだろう。ずっと昔、雨の中を走り続けてくれた先輩があつたように。そして、国体のクライミングで四連覇を果たした成年男子のように。どうか2004年は良い年であつてほしい。もう一度、夢を見させてほしい。

さあ、皆で協力しあつて、素晴らしい国体を演出しよう。

## 【第58回 NEW わかふじ静岡国体 山岳競技会 埼玉県記録】

期日：平成15年10月25日(土)～28日(火)

会場：静岡県磐田郡水窪町 大津山縦走競技場 長尾クライミング競技場

主催：(財)日本体育協会・文部科学省・静岡県 (社)日本山岳協会・水窪町

## 総合成績一覧表

	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		競技得点合計
県名	縦走	クライミング	縦走	クライミング	縦走	クライミング	縦走	クライミング	
埼玉県	9.0	—	—	18.0	—	—	—	—	27.0
得点数		総合順位							
天皇杯得点		37.0	14位	※	1位・静岡	2位・京都・千葉			
皇后杯得点		28.0	12位	※	1位・静岡	2位・京都	3位・熊本		

## 種目得点表

	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		
	縦走	クライミング	縦走	クライミング	縦走	クライミング	縦走	クライミング	
埼玉県	6位	22位	12位	3位	—	—	—	—	
1位	福島	千葉	岡山	静岡	新潟	京都	鳥取	茨城	
2位	神奈川	東京	長野	大阪	宮崎	千葉	京都	静岡	
3位	群馬	大阪	広島	埼玉	岩手	静岡	熊本	山口	

## 成年男子・T1縦走(個人成績)

## 成年男子・T1縦走(チーム成績)

4位	埼玉	小林 修	6位	埼玉
25位	埼玉	本橋 和之		
1位	神奈川	富田 雄也	1位	福島
2位	福島	渡辺 豊	2位	神奈川
3位	福島	真船 孝道	3位	群馬

## 成年男子・縦走T1競技表彰者

監督	佐藤 豊	(株)アルテリア
選手L	本橋 和之	東京電力(株)熊谷支社
選手	小林 修	(株)日本自動車連盟
選手	木下 雄介	

## 成年男子・クライミングC(チーム成績)

埼玉(予選22位・予選敗退)				
1位	千葉	2位	東京	3位 大阪

## 成年女子・T2縦走(個人成績)

## 成年女子・T2縦走(チーム成績)

5位	埼玉	藤田 亜矢子		
29位	埼玉	安藤 由香里	12位	
1位	京都	宮内 佐季子	1位	岡山
2位	広島	山本 裕恵	2位	長野
3位	岡山	内田 札子	3位	広島

## 成年女子・クライミングC(チーム成績)

3位	決勝(安藤・堤)	(予選順位6位)
1位	静岡(南裏・西島)	2位 大阪(石上・金谷) 3位 埼玉(安藤・堤)

## 成年女子・クライミングC競技表彰者

監督	丸橋 朋子	
選手L	安藤 由香里	(株)アルテリア
選手	藤田 亜矢子	川越市立月越小学校
選手	堤 きよ江	

### 《第58回国民体育大会「NEW!!わかふじ国体」山岳競技会視察報告書》

期 日 平成15年10月25日（土）～28日（火）

会 場 水窪町文化会館ホール（監督会議場） 水窪町総合体育館（開始式及び表彰式会場）  
水窪町立水窪中学校（実施本部会場） 長尾クライミング競技場

#### 視察日程・内容

期 日	日 程	視 察 内 容
10月25日（土）	・監督会議及び山岳競技開始式	・式典内容及び会場設営状況 ・式典演技者及び内容について ・実施本部の設営状況について
10月26日（日）	・クライミング競技 (成年女子、少年男女予選)	・会場設営状況及び役員体制 ・競技運営について ・競技用具、練習会場の整備状況について ・役員動向及び業務内容について
10月27日（月）	・クライミング競技 (成年男子予選)	・会場設営状況及び役員体制 ・競技運営について ・競技用具、練習会場の整備状況について ・役員動向及び業務内容について
10月28日（火）	・クライミング競技（全種別決勝） 表彰式及び引継式	・式典内容及び会場設営状況 ・役員動向及び業務内容について

#### 視察者

【第1班】10／24日（金）～26日（日）		【第2班】10／27日（火）～29日（水）	
所 属	氏 名	所 属	氏 名
式典専門委員長	新井富司	実行委員会常任委員	古峰孝
式典専門委員	佐々木敏也	広報専門委員長	川島達男
体育指導委員	角田勉	総務専門委員長	並木秀夫
体育指導委員	横田孟尚	競技施設専門委員長	広瀬登
市山岳連盟	土屋正昭	競技施設専門委員	村岡正巳
事務局	角屋房男	競技施設専門委員	井上昇
〃	松村国男	宿泊衛生専門委員長	山口定男
〃	萩原義徳	体育指導委員協議会会长	大熊一郎
		体育指導委員	田部井英世
		市山岳連盟	門間充
		事務局	野本政之
		〃	角屋房男
		〃	松村国男

監督会議 10月25日（土） 水窪町文化会館ホール 午後1時より

【会場の様子】 水窪町は、周囲を山に囲まれた271km<sup>2</sup>の町であり、監督会議は山岳競技開始式前に町の中心部に位置する水窪町文化会館ホールで行われた。各県の監督をはじめ、競技役員が出席した。競技委員長、審判長のあいさつ、出席者の紹介、主に競技ルールの確認、注意事項等。会場周辺には、案内看板等の設置なし。会場設営は、壇上に式典看板、本部席、来賓、演台が設置されていた。一般席は、監督、審判員、視察員等区別されていた。受付は、役員6名、補助者2名が担当していた。出席者は、各県の監督、競技及び運営役員、視察員等で250名程度。

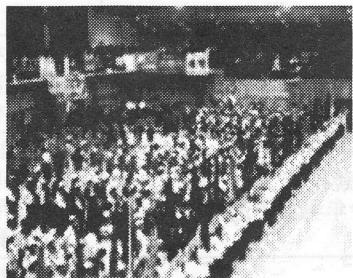


開始式 10月25日（土）水窪町総合体育館 午後3時より

【式典の様子】選手・監督をはじめとする関係者集合完了後、アトラクションとして町内の女性26名から成る「水郷会」による太鼓をベースとした“ちゃっきり節”的演技（約15分）が始まる。開式通告後、エレクトーンの音楽に併せ、白のトーナーで統一された地元中学生が持つプラカードに導かれ、国旗を先頭に、北海道から開催地静岡県までの選手団、協力隊が行進した。競技会開始宣言、国旗掲揚、優勝杯返還、競技会会长あいさつ、歓迎の言葉、審判長あいさつ、選手宣誓、閉式通告、選手団退場の順に進行。所要時間約50分で終了。選手監督（約400名）、競技役員（約50名）、協力隊（約30名）、観客（約450名）



〔開始式選手入場〕



〔開始式選手入場〕



〔アトラクション〕

クライミング競技 10月26日（日）～28日（火）

長尾クリミング競技場

【会場周辺の様子】 クライミング会場は実施本部から車で約5分程度の、長尾農村公園内にあり、駐車場の案内板以外は見受けられるものなし。山間の町を印象づけるためか、木枠の手作りのフレームが随所に置かれ一際目立った。会場周辺にのぼり旗がある程度であった。また、駐車場は水窪川を挟んだ所に設けてあったが、駐車スペースが少なく、一般と視察員の区別はなかった。

【競技会場の様子】人工壁4面 中央2面 3m×15m 可動式

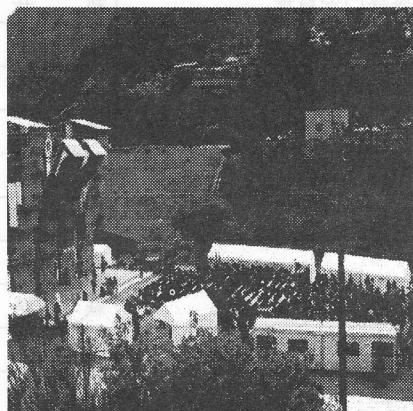
サイド2面 3m×15m 固定式

設置費用は総工費1億1千万円のリースで、屋外に設置されたものである。国体終了後、一部町民体育館の外に移設される他は取り壊される。競技会場では、一般席を中心にして役員席、視察員席が周りを囲む形になっていた。観客席については約500人が観戦できるようベンチ式の長椅子が用意されていた。イルショナルルームが、会場から1km程離れた場所に設置されていた。待機テント6張、更衣テント6張、トイレ8基の設置。無料休憩所では、「女性の会」が中心となり接待を行っていた。

「お茶はぬるくないですか？」と一言添えて渡す姿勢が印象に残った。会場には千人ほどの観客が集まつた模様で対応に苦慮されたと思う。

アナウンスについては、チーフルートセッターが解説・選手の紹介をしていた。

〔長尾クライミング競技場〕



行幸啓について10月28日（火）

- ・成年女子の競技決勝に皇族（常陸宮殿下）が行幸啓される。

説明者 競技委員長 仙石富英

同 伴 日本山岳協会 田中会長、  
水窪町長他7名

〔行幸啓〕



山岳競技実施本部会場

【会場の様子】山岳競技の実施本部は、町の南側に位置し、町立水窪中学校の体育館である。中央競技団体の役員をはじめ、記録本部、総務部等各部の役員席、協力隊の席が設置されており、各競技会場との記録等の通信は専用FAX 8台を使用。パソコンは記録集計用に5台、プリンター2台、プロセッサー1台、スクリーン1台、コピー機4台、電話12台が設置されていた。

## 〈第58回わかふじ国体〉

### 山岳競技を視察し感じたこと

設営部 濑戸 朋義

10月25日～26日（日）「第58回わかふじ国体」  
山岳競技視察のため静岡県水窪町「大津山縦走競技場」に  
行ってきました。

1泊2日の日程ですが、視察時間が数時間しかとれない  
ため、秩父市で開催する縦走競技に絞って開始式、スター  
ト会場設営、スタート業務状況等を視察しました。

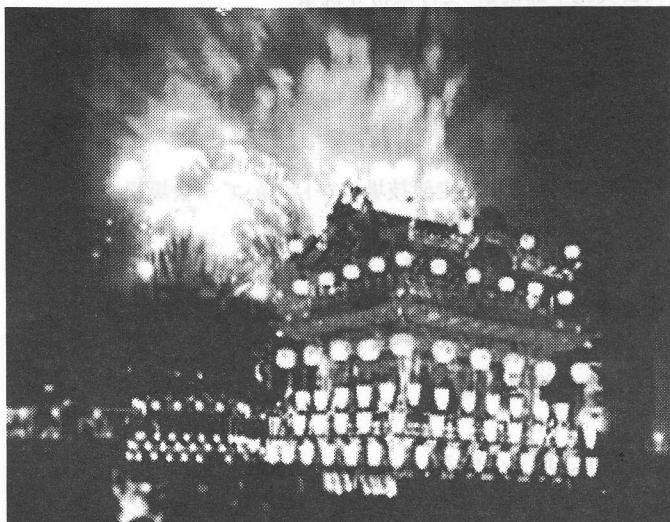
開始式では歓迎のセレモニーの後、プラカードを先頭に  
選手が入場行進。式の途中プラカードを持った高校生が緊  
張からか気分が悪くなり退場する場面がありました。予  
め待機していた生徒と代わり、何事も無かつたように式は  
進行し終了しました。大げさな言い方かも知れませんが、  
危機管理が出来ているなと感じました。スタート会場は、  
スペース的に余裕があるため町民体育館を挟んで監督選手  
の待機所、更衣所等の待機エリアと計量所、計時所等のス  
タート業務エリアに分かれています。整然とした業務が行われ  
るようになっていました。トイレは身障者用も設置されて  
いました。また、各係毎のテントには、その係に必要な備  
品、消耗品のチェックリストが置かれており不備が無いよ  
う確認する方法がとられていました。

これらは見習いたいと思います。スタート業務は、スター  
ト枠順に3県程度ずつアナウンスで呼び出し、順次計量を行  
う方法でスムーズに運営されていましたが、計量器の水  
平調整に使っている砂が崩れやすく、これを木枠等で囲む  
方法を取った方がよいと思いました。大津山縦走コースは  
秩父市の武甲山縦走コースと同様一般国道を一部使用し  
ますが、交通安全のため大勢の交通整理員、役員が必要な  
ことを再確認しました。以上が視察して感じたことですが、  
「彩の国まごころ国体」まで1年を切つてしましました。

まだまだ課題等が山積している状態ですが、今回の視察経験を生かしてそれらを解決していきたいと思います。

最後になりましたが、お忙しい中、私たち視察員のため  
にこころよく対応していただきました水窪町の皆様、また  
役員の方々に心より御礼申し上げます。

### ふるさと・秩父夜祭



クライマックスの秩父夜祭

京都祇園祭、飛騨高山祭と並び、日本三大曳山（ひきやま）祭の一つと言われている秩父夜祭は、秩父神社の例大祭で、毎年12月2・3日に行われ、300年以上の伝統があります。極彩色の彫刻で飾られ華麗でしかも重厚な、笠鉢・屋台が名調子の屋台はやしに乗り、夜空を彩る花火の中でも曳き廻される勇壮な祭りが今年も開催されました。

10月26日に小鹿野町を出発し、御殿場に入つたところで建設業組合の歓迎のぼり旗が道路両脇に掲げてあり、市を挙げての歓迎が感じられました。最初にこのようないい歓迎を目の当たりにすると、これから訪れる水窪町では、どのような対応で迎え入れてくれるのか、楽しみであります。しかし、わたしたちが配宿された宿舎は、愛知県の旅館で国体開催県では無かつたためか、旅館に着いても歓迎装飾がなく、国体とは全く無縁の感じを受けました。

縦走競技当日の朝に水窪町に向かいましたが、道路沿いに歓迎用のぼり旗が少なく、本当に水窪町が静岡国体山岳会場となっているのか初めて来た者にとっては、分かりづらい気がしました。スタート会場付近の道路沿いに着いてはじめて様々なぼり旗が掲げてあり、大会気分を盛り上げる雰囲気になっていました。

会場内では、ランナーがスタートコース沿いに規則正しく並べられていて、のぼり旗が掲げられてはいるが、観客も少なく、声援を送る頑張れの声もあまり聞こえませんでした。競技をはじめて見る者にとっては、観客が選手の身内や関係者だけでは、あまりに寂しい競技と感じられました。人を集めることができて大変か解らない訳ではないが、会場地として、学校等に応援の依頼をして大会を盛り上げても良いのではないか。

また、スタート会場では、選手がスタートしてしまって会場が閑散としてしまい、残った者にとっては、ただ漠然と表彰式が始まるまで待つていただけでしたので、会場内の売店で特産品等の販売でも行つて良いのではないかと感じられました。

いずれにしても、国体はその意義やあり方が問われ始めていると思われました。

## 〈静岡国体を視察して〉

小鹿野町 田陽 均

## 【第58回静岡国体〔Newわかふじ国体〕山岳競技：水窪会場視察に参加して】

記：設営部長 佐藤 求

今回の視察は佐藤は設営関係、岩井田は広報関係に視点を置き参加しました。何十年ぶりの夜行列車で昔を思い出し気持ちも浮き上がっていました。東京から夜行列車ムーライトに乗り込み豊橋に向かいました。久しぶりの夜行でどうせ眠れないだろうと二人で酒を飲み話しに弾んでいたら寝込んでしまい、気がついたらとんでもないところまで行ってしまいました。豊橋乗換え、飯田線で水窪駅に向かいました。車窓から眺める天竜川は川床が滑床になっていてとても印象的でした。十時四十七分に水窪に到着。余談ですがこの字が水窪(みさくぼ)と読みますか、地名は難しいですね。駅前に加藤事務局長が車で来ました。

今回の視察内容は

①は先発組〔日 程〕10月25日（土）から27日（月）二泊三日。

〔参加者〕牧野要雄（通信部長）・佐藤 求（設営部長）・惠 秀彦（医療救護部長）・加藤富之（事務局長）  
岩井田正昭（記録報道）

②は後発組〔日 程〕27日（月）から29日（水）二泊三日

〔参加者〕中田 弘（副会長）・武井正男（副会長）・福田 靖（理事長）・大倉 至（ケイミング副部長）  
〔その他参加者〕小茂田利孝、大谷 明 10/25~29

10月25日（土）① 12:00 水窪町立水窪中学校到着・大会実施本部視察・受付業務等視察

13:00-14:00 水窪文化会館ホール視察（監督会議）

13:00 大津山縦走競技場・スタート・ゴール会場：長尾ケイミング競技場視察（準備状況）

16:30-17:30 水窪町総合体育館視察（開始式）：宿泊所に移動

26日（日）朝食後、各競技会場・大会本部などを視察（業務の実際を視察）

07:00-18:00 町立水窪中学校（大会実施本部）：大津山縦走競技場・スタート会場・ゴール会場視察

07:00-18:00 長尾ケイミング競技場視察：宿泊所に移動

27日（月）朝食後、業務別に分かれ各種会場、大会実施本部へ移動：埼玉へ帰る

②12:00 町立水窪中学校到着・大会実施本部：ケイミングC=長尾ケイミング競技場視察

28日（火）07:00-16:00 長尾ケイミング競技場視察

16:30-17:00 審判委員会議視察=水窪町文化会館視聴覚室

19:00-20:00 表彰式参加=水窪町総合体育館

29日（水）09:00 現地本部など撤収の様子を視察後、埼玉へ帰る。

小茂田、大谷先生は少年の監督ということで25日（土）から29日（水）の全日程いました。岳連関係は以上ですがこのほかに加須市、秩父市、小鹿野町の各行政のかたがたも各班に分かれて熱心に関係箇所を視察していました。視察して気がついたところは大会実施本部、監督会議会場、開始式会場が離れているため行き来が車を使わないと移動できないところが不便さを感じました。大会実施本部は水窪中学校体育館内で各担当部はスチール棚で囲まれ外部からは見にくくことであったが担当者より説明を受けた。詳細については後日説明会があるとのこと。ケイミング会場は野外のため天候に左右されるとともに競技終了後は解体しなければなりません。水窪では室内にして永久使用に対応しても地域が過疎地のため使う人もいないのではないかと思いました。そこそくと加須は室内のため今から盛んに使用されていますので、国体の目的は十分達せられることと思います。水窪会場のケイミング競技期間中は天候に恵まれ成功裏に終わりました。大津山縦走競技場は埼玉の場合と違い一場で成年男女、少年男女の時間をずらして行いました。コースはにわか作りで階段が多く不自然さが見られました。走る選手のことを思うと自然味が少なく面白さが半減したのではないか。ただゴール地点は広く各業務のテントが整然と立てられていました。スタートとゴールが一緒だと観客も楽しみですが、別々だとヨイドンで終わってしまうのが寂しいところです。埼玉の少年男女の観音山コースは、出発とゴールが一緒なのでその点選手が出てからもまた戻ってくるため着順を確認できる楽しみがあります。武甲山の成年男女のコースも山自体街から眺められるし、選手は終了後鉱山の中のトンネルを車で下れる、少し変わった体験もできる楽しみがあるのでないかと思います。縦走競技はケイミング競技と違って周りの自然を楽しめるのもひとつの要素だと思います。各会場を移動しながら感じたことは町民も一体となって町を飾るとともに清潔にする、昼食、土産などのお店、いろいろな催し物を行う、特に開始式のアトラクションにおいて多くの町民が観覧に来ていて盛り上がっていました。町全体が小さいため宿泊設備が少ないのでホームステイなど行い苦労している様子も伺えました。埼玉においても町全体が国体で活気にみなぎる雰囲気が必要ではないか、国体を成功させるには住民と岳連と行政の三位一体が鍵ではないかと思いました。

## 小鹿野町ふるさと案内

山岳縦走競技会場スタート・ゴール地点に、山小屋風の建物がある。「倉尾ふるさと館」です。目に付く看板も無く営業しているのかどうか解らない為入りづらい感じがするが、中に入ると2階にダムの湖底に沈んだ合角地区を始め倉尾地域の資料が展示されている。文化財資料としては大変貴重な物なので、この機会に見学してみてください。又、1階には倉尾地区では、唯一の食事ができる倉尾ふるさと館お食事処がある。国体の下見あるいはハイキングの後で休憩場所として利用できます。

山岳縦走競技会場から車で3分位の所に天然水(毘沙門水)が湧き出て、遠方から土曜・日曜ともなると沢山の人が水汲みに訪れています。小鹿野町には、温泉施設「アパレスおがの」があります。小鹿野町の帰りの最後に立ち寄りゆっくりお湯につかり、疲れを癒してみてはいかがですか。



倉尾ふるさと館 入り口

会議及び講演会が2日間にかけておこなわれ最終日の午後から、県山岳救助隊・飯田隊長の実際に救助に対応した数件の実写ビデオ映像を元に講演を行いました。  
(1月～11月現在・約40件の事故)

P M・講演 講師 飯田雅彦氏  
(埼玉県警察山岳救助隊)

**【平成15年度冬山リーダー会議・講演会】**  
主催・県遭難対策部 (詳細報告は次号)  
伊奈町・埼玉県県民活動総合センター  
12月13日 (土) A M・冬山リーダー会議  
P M・講演 講師 岩崎元郎氏  
12月14日 (日) A M・セルフレッスキー講習会  
P M・講演 講師 恵秀彦氏



体验に裏づけされた遭難防止の講義に熱が入る



集中登山・納牌式に参加されたみなさん

## 【甲武信岳集中登山大会・遭難者納牌式】

主催・秩父山岳連盟

11月8日(土)～9日(日)にかけて甲武信岳集中登山と遭難者納牌式が行われました。慰靈碑建立25周年を兼ね、約40名以上の参加を持って盛大に執り行されました。  
秩父山岳連盟・浅見豊(県山岳連盟名誉会長)氏をはじめ、県岳連・自然保護部・三ツ木・岩崎両氏が参加されました。

**【積雪期登山講習会・指導員研修会開催のお知らせ】**

**指導員研修会開催のお知らせ】**

：積雪期登山講習会

1・趣旨 積雪期登山の安全登山普及と技術向上を目的とする

2・主催 埼玉県山岳連盟（主管埼玉県山岳連盟指導部）

3・期日 平成16年1月31日～2月1日

4・会場 那須岳周辺

5・参加資格 埼玉県山岳連盟所属会員

6・指導講師 日本体育協会公認指導員

7・宿泊場所 那須マウンテンホテル

8・参加費用 18,000円

9・申し込み先 指導部 中山まで

：指導員研修会

1・研究テーマ  
2・参加費用 10,000円

3・申し込み先 指導部 中山まで

**【雪洞講習会開催のお知らせ】**

1・趣旨 積雪期登山の安全登山普及と技術向上を目的とする

2・主催 埼玉県山岳連盟（主管埼玉県山岳連盟指導部）

3・期日 平成16年3月6日～3月7日

4・会場 谷川岳天神尾根周辺

5・参加資格 埼玉県山岳連盟所属会員でありますか

6・指導講師 日本体育協会公認指導員

7・参加費用 5,000円

8・申し込み先 指導部 中山まで

謹んでお悔やみ申し上げます。  
埼玉県山岳連盟

**計報**

**【平成15年度・県山岳連盟 予定表】**

1月14日・国体実行委員会・熊谷中央公民館

1月17日・※日山協新春懇親会・東京

1月20日・理事会・北本文化センター

1月24日・新年会兼国体選手慰労会・大宮

1月31日～2月1日・海上講習会・那須岳

1月31日・県岳連規約改正に伴う確認書類・提出期限

2月10日・国体実行委員会・熊谷中央公民館

2月14日～15日・※関東岳連絡協議会・笠間

2月17日・理事会・北本文化センター

2月21日～22日・※海外登山研究会・東京

2月21日～22日・※山岳レスキュー講習会・兵庫

2月22日・※日山協 評議員総会・東京

2月28日～3月1日・雪洞講習会・谷川岳

3月7日・国体運営研修会・加須

3月10日・国体実行委員会・熊谷中央公民館

3月14日・※日山協理事会・東京

3月16日・理事会・北本文化センター

3月19日～21日・※指導員氷雪研修会・富山

3月27日～28日・クライミングS研修会・加須

※県山岳連盟以外の行事

**【編集後書】**

慌ただしい年末も後、数日を残すだけとなり、暫くぶりに近くの里山へ、ハイキングに行つてみた。自宅から1時間弱で、目的の駅に降り立ち、多少の飲物、食料をザックにねぎいれ、山道を歩き出す。東秩父のこの一角には、まだ昔ながらの趣があり、この里山は、大変気分転換によろしい。農家の軒先を失礼します、と小声をかけながら通り過ぎる。垣根につながれた昼寝の犬が物憂げに、寝たままシッポをパタパタと歓迎の挨拶。軒に吊るした干し柿が、枯れた冬景色によく似合う。

やがてたどり着く山頂はさすがに平日の為、誰もいない。

日差しは暖かくベンチに横になる。風もなく、時折、頭上に現れる小鳥のさえずりを聞いてみると、こんな近くに自然一杯の里山があるとは信じられない。いつまでこの自然が残っているか。又春先に来てみよう。

**【広報編集よりお断り】**

18号は静岡国体がメインテーマの為、他の行事等は次号（19号）掲載予定です。

1月県総合体育大会・小鹿野・11月加須スキークラブイミング大会・12月冬山リーダー会議等々・理事会報告

国体実行委員会報告・事務局便り。

お寄せ戴いた沢山の資料・情報を全部載せることは出来ず、お詫びいたします。なお写真等は出来るだけコメントいただきければ幸いです。

特定できずボツとした例もあります。編集上、送り仮名等の修正ありますのでご容赦ください。

来年は埼玉国体の本番です。出来るだけ正確に、最新の情報をお届けします。皆様からのホットニュースをお寄せください。特に各団体の動向をお知らせください。